



大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

## 大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

# News Letter Express

VOL.65

2021年12月



目次	P
わくフェス開催	1
しみんのちから 登録団体	1
謎解きウォーキング&さやマルシェ 他	2
第17期まちづくり大学公開講座 他	3
市民公益活動促進補助金説明会 情報ステーション	4

### わくフェス開催 さあ～みんなの出番です！

「第1回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル（愛称：わくフェス）」

40団体出展決まる！

コロナに負けず、市民活動の力で吹き飛ばします！これから開催に向けて、参加団体と一緒に楽しい企画をつくってまいります。ご期待ください！

○開催日時：令和4年3月6日(日)

10:00～16:00

○会場：大阪狭山市立公民館

○共催団体：

- ・大阪狭山市市民活動支援センター
- ・大阪狭山市社会福祉協議会
- ・大阪狭山市立公民館
- ・大阪狭山市

○後援：

- ・大阪狭山市教育委員会
- ・帝塚山学院大学

・学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関西

◇参加団体のみなさんへ◇

◎「第1回全体会議」参加団体代表者等の説明・打合せ会を行います。

(参加者2名まで)

日時：12月2日(木) 19:00～20:30

場所：市立公民館多目的室



### 「しみんのちから」登録団体NO.310 さやか観光会

定例行事の「ブラさやま」を準備中にコロナ禍に邪魔されて以来、ほとんどのイベントが滞ってしまいました。自粛規制も少し緩和され、そろそろウィズ・コロナで参りたいと考えています。11月は、11日に府立狭山池博物館とのコラボで狭山池の案内。16日は市立公民館とのコラボで「天野街道めぐり」ガイドウォークは日和さえ良ければ、ほぼ目的達成で、心地良い時間を創成出来、それを共有出来るのが私達の無上の喜びとなります。市内に多数あるミツウロコを探して、狭山藩や歴代藩主北條家12代の生き様に触れられるよう、東奔西走するのも又面白く違った歴史の見方になります。さやか観光会は、地元密着型の観

光ガイド団体として発足以来、積極的に観光資源を発掘してガイドウォークのプログラムとしてきました。今後も健康的で知的好奇心を、少しはくすぐれる様な活動を目標とします。



陶器山の自然

ルビィ

情報提供

あまの街道と

陶器山の自然を守る会



## 狭山ニュータウン謎解きウォーキング&さやマルシェ

10月30日(土)「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト」が、「狭山ニュータウン謎解きウォーキング&さやマルシェ」を開催しました。公園をもっとよく知り、地域の居場所として活用することで、多世代が参画する地域コミュニティづくりにつなげることを目的としたものです。

絶好の秋晴れの下、事前に申し込みのあった参加者100名は親子連れが大半でした。子どもから大人まで楽しめる「謎解きウォーキング」は、狭山ニュータウン内（大野台地区）の4つの公園と緑道を楽しみながら歩き、また謎解きクイズに答えることにより公園の良さを多くの方に知っていただく良い機会であったと思います。

ゴール地点の東大池公園では、同時開催の「さやマルシェ」で、来場者1,000人を超える市民が飲食・雑貨・体験等のブースを、ハロウィンの扮装等で思い思いに楽

しみながら、秋の一日を過ごしていました。地域の皆さま方の多大なご協力により、開催できました。



## 地域連携体験学習

当支援センターと大阪大谷大学の間で「地域連携体験学習」制度を協定しており、毎年学生が当支援センターの企画プログラムに参加しています。地域の団体活動体験やイベント等に参加しながら、団体運営の課題を見つけ自分なりの解決の糸口を考えます。イベント参加では、みんなが支え合いながら運営している実情を知り、参加している人たちとの出会いを体験、新しい自分の発見の場でもあります。今まで経験したことのない体験を通じて、地域への愛着や地域活動の必要性等を知ることを目指しています。例年、複数の学生が参加するのですが今年度はコロナ感染関係もあり1名の学生が参加してくれましたので紹介します。人間社会学部1回生の梅本凜太さんです。彼は野球が大好きで、甲子園出場経験を持ち、大学でも野球部に所属している好青年です。

期間は8月17日～9月15日として、40時間のプログラムを体験しました。オリエンテーションを皮切りに、NPO法人ワークレッシュやNPO法人南大阪サポートネットでの体験、最後のプログラムでは「傾聴さやま」の取材体験を行い、下のレポートを投稿してくれました。体験の報告会は、12月4日(土) 午前中、大阪大谷大学で行われます。



## 大阪大谷大学地域学習体験レポート

大阪大谷大学人間社会学部1回生 梅本凜太

「傾聴さやま」の活動は、一人暮らしをしている高齢者や施設等を訪問し、人の話にじっくり耳を傾ける。相手の語りに心を寄り添いながら、話をありのままに受入れて分かち合い、相手の方から“話してよかった”と思ってもらえるように心掛けて活動をされています。そこから信頼関係をつくりあげていく。これはまさしく「傾聴力」だと共感しました。人が話すことによって、認知症の予防、老化の防止、心の浄化など大きな効果があることを感じました。世間話や過去の思い出話などの会話からでも得られるものは大きいと思いました。私はお二人がお話をいただいているのを聴いて、感心するばかりでした。私も“このようにコミュニケーションが出来ればいいのになあ”と強く感じました。

しかし、コロナ禍により活動を自粛しているため、訪問が出来ず、メンバー同士で磨きをかけておられます。コロナ感染が早く収束し、活動が再開できる日を待つばかりです。今回の取材に対して「傾聴さやま」さまのご協力、また貴重なお話をいただきました。本書面をお借りして、ご代表・副代表に厚くお礼申し上げます。



## 第17期まちづくり大学 公開講座 「新・防災対策～私たちに今できること～」

11月6日(土) まちづくり大学の公開講座としてSAYAKAホール大会議室で、講師に大阪狭山市在住の防災クリエイティブマネージメント・岡本裕紀子さんを招いて私たちに今できる新防災対策を学びました。

南海トラフ巨大地震や断層直下型地震だけでなく、風水害のリスクも近年発生していることなどから、狭山は大丈夫だろうと油断してはいけないとの話がありました。また、コロナ禍を踏まえた家庭の防災対策について、災害時に避難する場所も優先順位を考えて分散避難が大切なことや、避難所生活の注意点として、ごみ処理の工夫、食事の際の注意点、トイレの感染防止など、被災した時の具体的な注意点についての話がありました。避難所運営に備えて地域で取り組むためには共助の力の重要性（地域のつながり）は減災に直結

すること、そのためには地域の人材を活かすためのつながりが重要であることを学びました。この日は50名ほどの方が熱心に話を聴いていました。



## 第25回市民活動団体交流会

—コロナ禍での団体活動について—

今回は「もったいないをありがとに変えよう」というテーマで、環境及び保健・医療・福祉関係の団体を対象に開催します。

支援センターは来年3月に「第1回わくわくフェスティバル」を開催予定ですが、その中で、ごみ減量に取り組む「ごみ減量推進会議」と「まち研環境分科会」が食品ロス削減を目的にフードドライブを実施します。

今回の交流会は、この2団体から大阪狭山市のごみ事情、ごみ減量の工夫、食品ロスの削減などの話とともに、ごみ減量の観点からフードドライブの意義や目的について話があります。その後、各グループで意見交換をしていただく予定です。

- 日 時：12月4日(土) 13:30～15:30
- 場 所：市役所南館 2F講堂
- 申込・問合せ：市民活動支援センターVIC  
TEL：360-1011 FAX：360-1012



## まちづくり大学 市民公開講座

～脳トレ+筋トレ+ストレッチで心も身体もリフレッシュ!～

健康の維持・向上につながる運動方法や指導法を研究なさっている新野弘美先生を講師に迎えて、運動にまつわる講話を伺い、自宅でも実践できる運動を学びます。実技もありますので、動きやすい服装でおいでください。

- 日 時：12月11日(土) 14:00～16:00
- 場 所：市立コミュニティセンター 4F大会議室
- 講 師：帝塚山学院大学食物栄養学科 専任講師  
博士(医学) 新野弘美先生
- 持ち物等：動きやすい服装・飲み物・運動できる靴・タオル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アルコール消毒、入口での検温、マスク着用にご協力ください。

- 申込・問合せ：市民活動支援センター  
TEL・FAX：366-4664  
支援センターのホームページからも申し込めます。  
締切12月6日(月) ただし定員(50名)になり次第締め切ります。





## 大判プリンター利用講習会のお知らせ

- 日 時：12月12日(日) 14:00～16:00
- 場 所：市役所南館2F 市民活動支援センター  
ミーティングルーム1
- 対 象：市内で活動する市民活動団体関係者
- 内 容：大判のインクジェットプリンターを使って  
ポスター、横断幕、のぼり、写真等を印刷  
する方法の講習会です
- 参加費：無料（材料費は実費）
- 定 員：10人（先着順）見学だけでも可
- 持ち物：出力する為のデータを保存したUSBメモリー
- 申し込：12月10日(金)午後5時までにFAXかメール  
で参加者の名前・電話番号・メールアドレスを明記  
の上、当支援センター FAX:366-4664 へ  
電子メールの場合は  
soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com  
支援センターホームページからも申し込みできます。  
<http://osakasayama-sc.jp>
- 問合せ：  
市民活動支援センター  
電話：366-4664



## 大阪狭山市市民公益活動促進補助金説明会

市民公益活動促進基金を活用して市民活動を支援する補助金の説明会を開催します。

「いま実施している活動（事業）が対象になるの？」  
「申請書類の書き方がわからない」等ご不明なことがあれば、説明会終了後に個別相談可能ですので、お気軽にお越しください。

- 日 時：令和4年1月30日(日) 10:00～1時間程度
- 場 所：市役所南館2F講堂
- 内 容：
  - ・申請書類の書き方
  - ・過去の申請団体や補助事業の紹介
  - ・同分野で活動する他団体との連携への支援
  - ・ボランティア登録者の活用の紹介など



## 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、ボランティアグループおよび各サークル等活動が縮小もしくは停止されていました。その様な中で自宅待機等で外に出歩くことが少なくなり、人のつながりが失われて「社会性孤立」に陥る人が多く、特に高齢者の男性の割合が大きいそうです。高齢者が社会とのつながりを失うと心身が衰えるフレイルにつながると言われています。打開策としてメールなどでメッセージのやりとりや音声・ビデオでの通話等があります。グループの会合はZoom、Teams等のオンライン会議が使えます。でもどれをとっても高齢者が利用するにはハードルが高いと思います。世間にはいろいろな講習会などありますが、参加するにはちょっと勇気が必要です。コロナ禍でも社会的孤立に陥らないように自己防衛が必要だと思います。特に一人暮らしの高齢者は公的機関の繋がりを強くしておく必要があります。コロナ禍が収まっても油断することなく普段から注意したいものです。

(Hy)

## 大阪狭山市市民活動支援センター

### News Letter Express

発行責任者：橋本 巖

編集責任者：早野 秀夫

〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5

☎・Fax：072-366-4664

E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp

<http://osakasayama-sc.jp/>

